

(月曜日)

地域のニュース

愛犬の訓練方法をトレーニング

神戸でスクール
70人と18匹参加

神戸市北区の私立幼稚園で三十日、飼い犬の訓練方法を講習する「マイドッグトレーニングスクール」が開かれ、連中は奈良や大阪から、約七十人の愛犬家と十八匹の犬が集まった。ほとんどが家族連れだが、中にはまだ犬を飼っていない人も。全員が楽しく犬と遊びながら、「より良い飼い主になるための方法」を学んだ。

トレーニングの講師は、家庭犬訓練士の笠木恵子さん(三十一)神戸市東灘区住吉東町一。以前は美容師をしていたが、アメリカに半年間留学していた時に、犬の飼主の意識が高いことに感銘を受け、帰国後に訓練士の資格を取った。

この日は、犬について理解するため、しつけの基本知識や犬の性質を勉強することからスタート。続いて実技に移り、飼い主が「待て」「伏せ」などをそれぞれの飼い犬に教えた。最後に行われたミニ運動会では、参加者を二チームに分けての障害物競争や短距離走が行われ、一生懸命走る愛犬に、飼い主から熱心な声援が送られた。

笠木さんは「犬を訓練する前に、飼い主を訓練しなければいけないのが、今の日本のペット事情。飼い主の無知から捨て犬などの不幸な犬をつくらないうために、これからもこのスクールを続けたい」と話している。

ほめてやらねば
犬は動かじ

神戸でしつけ学校



愛犬家に犬を正しく理解し、しつけ方を学んでもらおうと「マイドッグトレーニングスクール」(動物実験を考える会主催)が三十日、神戸市北区南五葉の聖ミカエル南五葉幼稚園で開かれた。写真。神戸市や三田市、三木市などから七十人が参加。家

庭犬訓練士の笠木恵子さん(三十一)からビデオを使った説明を聞いた後、シベリアンハスキーやビーグル、ゴールデンレトリバーなど愛犬二十匹が待つ運動場へ。笠木さんとモデル犬を手本に「待て」「座れ」「伏せ」などの基本動作を、約一時間後には、掛け声に合わせた動作ができるようになった。